

STOP THE 格差社会！特定秘密保護法廃止！集団的自衛権行使容認を許さない！ 管内各地での結集と行動に感謝・6月も連合の行動は継続する



北の砦

地協情報 第1号

旭川市4条西6丁目道北労働センター
連合北海道上川地域協議会
発行責任者 井上和広

第85回メーデーに3000名が結集！

働く仲間が手を取り・肩を組み、声を挙げる

第85回メーデーは4月30日の下川地区（5月1日はスキージャンプレジェンド葛西選手らのパレードが開催）を皮切りに、5月1日には21地区、5月13日の東川地区をもって管内全地区での開催を終え、計3000名の組合員・家族・OBが結集した。旭川地区メーデーは5月1日午後2時30分より旭川市民文化会館大ホールに総勢920名が参加。オープニングイベントとしてO×クイズ・抽選会。続いて作品コンクール表彰では、近年で最多の12作品の参加があり、メーデーを華やかに飾っていただき、取り組みとご協力に感謝を申し上げる。



西川将人 旭川市長



高橋委員長の団結ガンパロー



式典には「三村勉」連合上川地区協議会長、「横尾章弘」旭川地区高退連合会長が参加。さらに「西川将人」旭川市長、「椿谷信雄」上川総合振興局副局長、「佐々木隆博」民主党代表、「安友進」全上川農民連盟書記長、労働金庫・全労済、各級組織内・推薦議員など、多くの来賓にも駆けつけていただいた。高橋紀博メーデー実行委員長は、「安倍政権復活以降の労働者・生活者を犠牲にし、苦しめる政治に何としてもSTOPをかける！そのために今まで以上に労働者の強い団結と強い結集をもって、地域から声を上げ、行動していこう！」と力強く訴えた。続いてメーデースローガン、メーデー宣言、労働者保護ルール改悪反対と特定秘密保護法廃止の特別決議を全体で確認し、団結ガンパローをもって、市内中心部へのデモ行進に出発。組合旗・プラカードを掲げ、シュプレヒコールを繰り返して旭川市民にアピール。午後5時15分に全日程を終了した。その後、組合員は夜の街へ・・・？



STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現 キャンペーン行動で管内全地域完走！

今月のキャンペーン行動は、管内全域のテープ街宣。5月16日から30日、連合車が壊れそうなエンジン音を轟かせ、何とか全地域を走破した。

5月19～20日の士別ブロック（士別、剣淵、和寒、幌加内）、21～22日の名寄ブロック（名寄、下川、美深、音威子府、中川）、29～30日の富良野ブロック（富良野、上富良野、中富良野、南富良野、占冠）によるテープ街宣には佐々木隆博民主党代表が全域に同乗していた



左から佐々木隆博民主党代表、荒木香寿男地協副会長、井上和広地協事務局長



だき、全市町村で街演を実施しました。旭川ブロックではテープ街宣に加え、5月27日の中央行動・全道総決起集会に先立ち、5月23日午後6時から1条通買物公園において、上川地協組合員・地域住民の声を全道へ・中央へと繋ぐべく、街頭集会を開催。地協を代表し、荒木香寿男副会長が集まった組合員、道行く市民に対し、『安倍政権の暴走は働く仲間のみならず、全国民の危機である。今こそ国民が一つになって行動を起こす時。連合の運動にご理解をいただきたい』と挨拶。続いて佐々木隆博民主党代表より政府与党の暴挙を詳しく説明をいただいた。

今集会は労働者保護ルール改悪阻止に加え、5月15日に安倍首相が集団的自衛権行使容認への考え方を表明したことを受けての開催。集会決議とともに集団的自衛権行使容認を許さない緊急アピールを梶沼巧也副会長より提案。1,000枚のチラシもあったという間に配布



管内全域のスポット街演をいただいた佐々木隆博民主党代表

したことから市民の関心も高く、不安も大きいと言える。最後に高橋紀博副会長（旭川地区連合会会長）の団結ガンパローで、組合員と地域住民との連帯で闘っていくことを確認した。

第1回連合講座を開催 「STOP 秘密保護法！戦争のない未来へ」

『銃口』から学ぶこと ～人間への抑圧と言葉の希望～
三浦綾子記念文学館特別研究員 森下辰衛 氏

5月28日（水）18:30より旭川市民文化会館で連合講座を開催し、180名が参加。

特定秘密保護法、新たな武器輸出三原則、集団的自衛権行使容認に向けた方向性……。まさに権力・武力による抑制・抑圧であり、戦前・戦時中の日本に再び戻ってしまう危険性を懸念する。戦時下、子どもが見たこと、感じたことをありのままに表現する「綴方教育」が治安維持法違反とされ、多くの教員が逮捕された「北海道綴方教育事件」。戦争がなす無意味な弾圧と抑圧。戦場では四方に銃口が。そのなかでも恩師の教えや仲間の言葉を信じ「生きて帰るためにあえて銃を捨てる」。子どもが豊かな心を持ち、いのちの尊さを知る。戦争のない世の中を願い、再び「綴方」を教育の場に取り戻す決意をする。

旭川出身の作家故「三浦綾子」さんの作品『銃口』から、今進もうとしている政治・日本に対して、私たちはどう考え、何ができるか。森下氏からの熱く・強く・そして優しく語りかける講演に、参加者は真剣に聞き入り、今後の行動に生かすべく、有意義な講座となった。



森下氏は、三浦文学に魅せられ、大学教授を辞め、福岡から旭川へ移住。全国に三浦綾子の心を語り伝えている。



眠ることなく、聞き入る参加者

■お知らせ■

- その① 第5回執行委員会（5・14）において、STOP THE 格差社会や特定秘密保護法廃止への取り組みを継続して実施していくことを確認した他、今後の取り組みとして左記の内容を確認しました。具体的には今後協議しますが、取り組みにあたってのご理解とご協力をお願いいたします。
- ・連合生活アンケート（上川地協発30号）
- ・連合中小労働者研修交流会（層雲峡）（上川地協発第31号）
- その② 直近の行動として、街頭行動を予定していますのでご協力ください。
- ・6月6日（金）18時 旭川1条買物公園
- ・6月下旬は最賃関係の街宣を予定
- その③ 左記取り組みを要請しています。再度確認と対応をお願いいたします。
- ・連合生活アンケート（上川地協発30号）
- ・連合中小労働者研修交流会（層雲峡）（上川地協発第31号）

遅くなりましたが、情報「北の砦」第1号が発行できました。今後は産別や地区連合会の取り組みも掲載し、管内での情報共有を行っていきたいと考えています。情報提供をお願いいたします。月1回の定期発行に心がけ、その他号外やFax速報なども合わせて発をし、情報活動を強化してまいります。